

# 豊岡市新文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会 (第2回)

## 資 料

1. 前回委員会のまとめ
2. 市民意見の収集状況 ヒアリング結果（中間報告）
3. 市内ホールの現状整理および新文化会館の方向性（案）

# 1. 前回委員会について

## ■大ホールについて

- 大ホールは開館当初は満席になったが最近では埋まらない  
人口減少の中、市民の劇場・ホール離れがある。大規模ホールは慎重に考えるべき
- 豊岡でも、演目によっては1000人集客するものもあるので、1000席以上のホールを議論から外すことは難しい
- 大ホールの客席数に関しては、採算性も考慮して検討すべき
- 大ホールはプロが使う、アマチュアが使うなど多様なケースがある  
1000席以上にするか否かは、多くの動員が必要な公演を現施設が年間どのくらい行っているかを整理し、判断すべき
- 「興行イベントが誘致できるから大規模ホール」ではなく、新たな付加価値が必要。例えば、高齢者に優しい劇場・ホールといった視点など
- 若い世代が新施設のコンセプトや内容に合意してくれるのか、大きなホールが本当に必要なのか、新しい動きも察知して慎重に議論していきたい

# 主な意見など

## ■小ホールについて

- ホールには**ステータスの要素**もある
- 練習利用としての稼働が高いホール、録音に特化したホールもある
- **適切な利用料金とオペレーションのしやすさ**等が小ホールのよさである

## ■新しい施設について

- 合併前は各自治体にホールがあり本番に近い環境で練習できたが、**合併後の現在は考え方を改めるべきかもしれない**  
練習だけが目的の施設を各地域に整備する必要はない
- 新施設には、**大ホール**のほかに、一般でいう**小ホール**（出石文化会館の大ホール程度）と**リハーサル室**があればよい
- バレエができる程度のホールは欲しい。ひぼこホールで発表会をしていた。体育館のステージは狭い。**子どもたちの発表の場**を失いたくない
- **親子室**は採用してほしい
- **デザイン性は不要**。雪への配慮などの基本を抑えた機能重視でよい
- **20年30年先を見据えたホール**がほしい

# 主な意見

## ■運営・ソフトについて

- 市民会館の年間収入が少ない。上演の様子の世界配信、音源化等、お金を生む仕組みを作ってはどうか
- ハードとともにソフトも大切。先を見据えた運営のできる公共ホールとしたい

## ■その他 検討にあたって

- 市民会館と出石文化会館だけでなく、豊岡市全体のホールの役割を整理した方がよい
- ホールの規模について共通理解が必要  
→ 公立文化施設協会によれば、500席までが小ホール、1000席までが中ホール、1000席以上が大ホール

---

## **2. 市民意見の収集状況 ヒアリング結果 (中間報告)**

# ヒアリング概要

## ■ 実施概要

	日時		場所	参加団体・人数
第1回	11月9日（金）	14時～16時	豊岡稽古堂 交流室	11団体 14人
第2回	11月9日（金）	19時～21時	市役所 庁議室	5団体 7人
第3回	11月10日（土）	10時～12時	市役所 庁議室	4団体 4人
第4回	11月10日（土）	14時～16時	市役所 庁議室	4団体 7人

計 24団体 32人

## ■ 設問項目

1. 団体概要
2. 活動状況
  - ① 日常活動
  - ② 公演・発表など
3. 市民会館について
4. 新しい施設について
  - ① 立地
  - ② ホールの機能
  - ③ 附帯設備
  - ④ その他



# ヒアリング概要

## ■ 関係団体リスト

No.	カテゴリー	団体名称	人数
1	1. 地域	豊岡市区長連合会	1人
2		豊岡市社会教育委員会	1人
3		豊岡市体育協会	1人
4		子育て総合センター	1人
5		豊岡市PTA連合会	1人
6		豊岡市老人クラブ連合会	1人
7		但馬障害者通所施設連絡会	1人
8	2. 文化団体	豊岡文化協会	2人
9		城崎文化協会	1人
10		竹野文化協会	1人
11		日高文化協会	3人
12		出石文化協会	2人
13	3. 吹奏楽	但馬吹奏楽連盟	2人
14	4. 楽器店	株式会社岡楽器店	1人
15		田中音友堂	2人
16	5. 商工観光	豊岡商工会議所	1人
17		豊岡市商工会	1人
18		豊岡観光協会	1人
19		たけの観光協会	1人
20		全但バス株式会社	1人
21	6. 施設管理運営	NPO法人コミュニティアートセンタープラッツ	2人
22		城崎国際アートセンター	1人
23		NPO法人コミュニティ日高	1人
24		豊岡劇場	2人

# ヒアリング結果（中間報告）（全体）

## 3. 市民会館について

文化ホールを利用する・利用したことがある	■■■■■■■■■■ 9
文化ホールを利用しない	■■■■■■■■■■ 8

### ■利用ジャンル

- 文化団体発表会（合唱、アカペラなど）
- 音楽コンクール（エレクトーンアンサンブルなど）
- 学校の定期演奏会・音楽会
- 公式行事
- 記念公演（著名アーティストのコンサート経験あり）

### ■利用しない理由

- 会場が大きくて使いづらい（集客困難）
- 利用料金が高い

### ■その他

- 文化団体が大中会議室、ギャラリー、リハ室、会議室等利用する（展示発表、練習、教室など）
- 事務局は配置換えが頻繁にあり、コミュニケーションとりづらい
- 申し込み時点でキャンセル料が発生する

# ヒアリング結果（中間報告）（全体）

## 4. 新しい施設について

### 4① 立地について



- 旧6地区の交通網の良いところ
- 出石と豊岡の間など、どっちつかずは良くない
- 市街地にあって、出石の方も足を運びやすいところ
- 高校生が利用できる駅近くがよい
- 雪のことを考慮したところ
  
- 中心地は周縁部からは遠い
- 全ての施設が豊岡に集中するのは問題

# ヒアリング結果（中間報告）（全体）

## 4. 新しい施設について

### 4② ホールの機能（規模）

1200～1500人	■ 1
1200	■ 1
800	■ 1
600～700	■ 1
500～600	■■■ 3
300～400	■ 1
200～300	■■■■■ 5
～200	■ 1
市民が使い易い	■ 1
こじんまり	■ 1
大きいのは不要	■■■ 3
特になし	■■■■■■ 6

- 「茅野」のようにマルチ・展示会利用可能
- 多目的多機能に対応
- スポーツを取り込むくらいの奇抜なもの
- 映画上映できるもの、映像との連携を望む
- 大きいものは市民には使えない
- クラシックなら小・中ホールが欲しい
- 音響が良いもの
- 気候に合わせて音質管理できること
- 舞台・袖が広いもの
- フラットで出入りしやすいこと
- コンパクトで会場費が安いもの
- 中核都市にふさわしいもの

# ヒアリング結果（中間報告）（全体）

## 4. 新しい施設について

### 4③ 附帯施設について

リハーサル室	■■■ 3
練習室・スタジオ	■■■■■■ 6
ゆとりある楽屋・更衣室	■■ 2
衣裳部屋・器具庫	■ 1
会議室	■■■ 3
レクチャースペース	■ 1
展示室・ギャラリー	■■■ 3
図書館・美術館	■■■ 3
レストラン・カフェ	■■■■ 4
交流・フリースペース	■■ 2
託児施設・子供が遊べる所	■ 1
駐車場	■■■■■■■■ 9
特になし	■■■■■■■ 7

- 武道館との併用
- 葬儀ができる場所
- 子供と高齢者が集まれるところ
- 大型バスの乗入れ可能な駐車場
- バリアフリーのバス停
- 創造的な空間はまち全体のレベルアップにつながる

# ヒアリング結果（中間報告）（全体）

## 4. 新しい施設について

### 4④ その他

日常的に市民が活動がしやすい	■■ 2
著名アーティストより市民活動の成果を発表	■ 1
城崎国際アートセンター、大学との連携	■■ 2
地域バランス、既存施設とのネットワーク	■■■ 3
市民プラザでできないことをやって欲しい	■ 1
メインホールで何をやるか	■ 1
豊岡の特徴あるもの	■ 1
ほんものを作ること	■ 1
但馬の中の豊岡であること	■ 1
地域の文化を発信する拠点であること	■■ 2
文化と生活を連動させること	■ 1
親子で足を運ぶ施設とすること	■ 1
リーズナブルな利用料金とすること	■■ 2
ホール直行バス、遠方利用者の交通費助成	■■ 2
半官半民の運営が良い、採算性だけではない	■■ 2
会館スタッフのスキルアップ	■ 1
バリアフリー	■ 1
若者を呼び込むしくみ、人口減少の歯止め	■■ 2
特になし	■■■■■■■■■■ 10

# ヒアリング結果（中間報告）（文化団体）

## 1. 団体概要、2. 活動状況（日常、発表）について

- 会員数は減少傾向
- 合併後も、地区ごとに従来の文化協会をおいて活動している
- 市の文化祭？のほか、地区文化協会が文化祭・作品展、芸能祭等を実施
- 発表会でKIACを利用するが料金が高い（城崎）

## 3. 市民会館について（利用状況）

- 音楽祭・芸能祭（豊岡）、合唱祭（出石）
- 協会としての利用はないが、団体ごとに発表会・展示会（日高）
- 全市域の文化協会の催事・発表の場として6団体合同で利用
- ひぼこホールと市民会館を交互に利用してきた（城崎）
- 但東、出石地区では、ひぼこホールの大ホールと小ホールが使用停止し、文化祭が様変わりした。音楽関係の発表が減少した
- 小規模な発表・展示や練習などで、リハ室や会議室を活用（豊岡）

## 4. 新しい施設について ①立地

- 旧6地区の交通網の良いところ
- 駐車スペースが十分にとれるところ
- 市街地にありながら、出石の方にも足を運びやすいところ
- 市街地に近く歩いていける場所が望ましい
- 全ての施設が豊岡に集中するのは問題

## 4. 新しい施設について ②ホール機能（規模）

- ホールは多機能が理想
- クラシック特化なら小中ホールが欲しい。専門ホールは不要（豊岡）
- 500～600席で音響の良いもの（一流歌手やオケが公演可能）（日高）
- 600～700席（竹野）
- 大ホールは800席程度（成人式や講演会、吉本、学生の発表会等を想定）
- 200～300人規模のホールがあると市民団体が日常使いできる（城崎）
- 特になし（出石）
- コンパクトで利用料金が安いこと、障害者や高齢者に使いやすいこと

## 4. 新しい施設について ③ 附帯施設

- リハーサル室・音楽練習室
- ギャラリー・展示室（展示団体多いため）
- 会議室、練習室
- 喫茶室、市民が交流できる場所
- 衣装や器具の保管庫、駐車場など

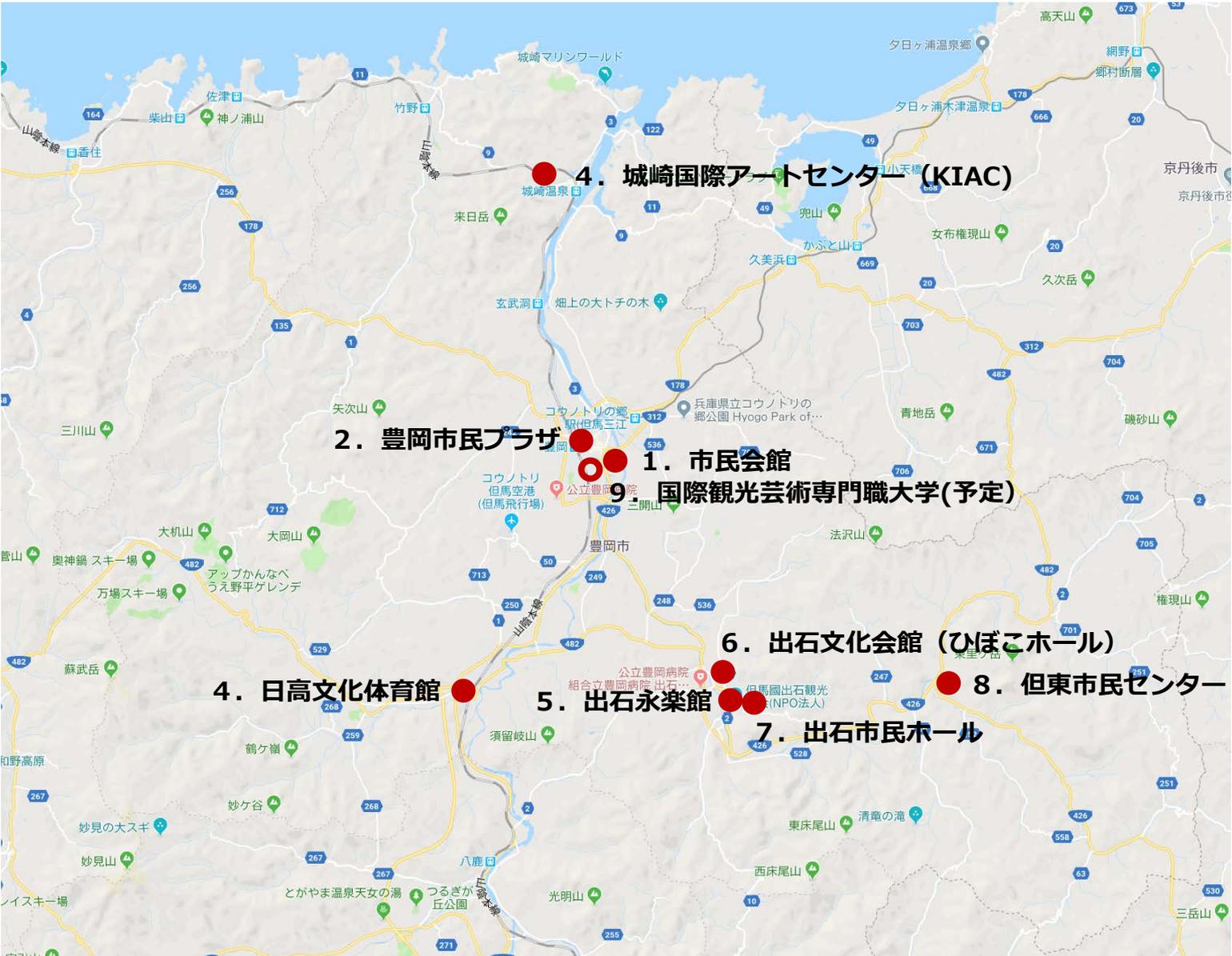
## 4. 新しい施設について ④ その他

- 市のメイン施設としてリーダー的ポジションを担うべき
- 市民プラザでできないことができるの良い
- 各施設の催事との棲み分け、機能分担が必要
- 地方公共ホールは指定管理者制度に不向き  
（良質な芸術提供と収益性の両立は困難）
- ホール直行のバス、遠方からの利用者のための交通費助成
- キャンセル料の徴収のあり方

---

# **3. 市内ホール現状整理 および 新文化会館の方向性（案）**

## **3 ①. 市内ホールの現状整理**



# 豊岡市の主要ホール 施設データ

【第1回資料再掲】

	1.市民会館	2.豊岡市民プラザ	3.城崎国際アートセンター	4.日高文化体育館
場所	立野町 (豊岡駅2 km)	大手町 (豊岡駅前 アイティ7F)	城崎町湯島	日高町祢布
建築年	昭和45 (1970) 年	平成10 (1998) 年	昭和58 (1983) 年	昭和62 (1987) 年
ホール規模	1,118席	294席	500席	780席
ホール形式	固定席	可動席	可動席	可動席
舞台	17×10×7	11×7×4	18×12.6×7	10×20×6
付属施設ほか	リハーサル室1、楽屋3、 会議室7、和室2、展示室2 	リハーサル室4、楽屋2、会議室4 ショッピングセンター併設 	リハーサル室5、楽屋1、スタジオ 調理室、浴室、宿泊、食堂 	小ホール (150人、132.9㎡) 
	5.出石永楽館	6.出石文化会館 (ひぼこホール)	7.出石市民ホール	8.但東市民センター
場所	出石町柳	出石町水上	出石町内町 (出石庁舎内)	但東町出合 (但東庁舎内)
建設年	平成20(2008)年 (復原工事)	平成6 (1994) 年	平成 5 (1993) 年	平成6 (1994) 年
ホール規模	368席	大ホール 490席	106.9㎡	248席
ホール形式	芝居小屋	固定席	平土間	可動席
舞台	—	12.6×7.0×10.1	—	—
付属施設ほか	県指定文化財 	小ホール(100人、平土間) 多目的ホール(380人、平土間)他 		

# 豊岡市の主要ホール概要① 豊岡市民会館

- 特徴・位置付け **豊岡市の芸術鑑賞・文化芸術活動拠点。市の文化の殿堂**
- 文化ホール 市内最大のプロセニウム形式ホール
- ・ 用途・ジャンル 音楽、演劇、バレエ等の公演・発表会、大会・式典・講演会等
- ・ 利用主体 文化団体・学校、行政・各種団体、民間企業、NPO等
- ・ 稼働状況 日稼働率は約4割程度
- ・ 自主/貸館 貸館主体
- その他 会議室をはじめ諸室利用者多数

施設概要		ホール		備考	
施設形態	単独	名称	文化ホール	○催事（本番）の利用者数は平均700人程度 ○リハーサル室、会議室等の利用者はホールを上回る（行政や各種団体の会議、文化団体の教室・練習等） ○諸室の日常利用は豊岡地域が主体  ○ホールでの主な事業（H29年度）※1 ・兵庫県吹奏楽コンクール地区予選（1,603人） ・但馬吹奏楽祭（1,150人） ・吉本お笑いライブ(1,100人) ・清塚信也ピアノリサイタル(959人) ・森麻季ソプラノリサイタル(930人) ・中学校連合音楽会(800人) ・児童文化祭(610人) ・成人式(750人) 等  ○ホールの使用回数（使用人数別_H29年度）※1 ・1,000人以上 9 ・900人以上999人以下 5 ・800人以上899人以下 5 ・700人以上799人以下 3 ・600人以上699人以下 8 ・500人以上599人以下 7 ・400人以上499人以下 2 ・300人以上399人以下 3 ・200人以上299人以下 3 ・199人以下 102	
管理形態	直営	収容人数	1,118席		
建築年月	昭和46年	形式	プロセニウム形式		
構造・階数	RC・4階	舞台大きさ(m)	W17×D10×H7		
延床面積	5,922㎡	利用人数(H29年度)※1	36,579人		
耐震性	耐震補強済	利用日数(H29年度)※1	117日		
施設の構成	文化ホール 楽屋3 リハーサル室 大会議室(大中小2) 和室 講座室 青少年婦人室 談話室 ギャラリーほか	稼働率〔日〕※1	38%		
		利用ジャンル ※1	(回数比)		
		・大会・式典・総会	15%		文化系催事 35%
		・講演会	2%		
		・演劇・演芸	5%		
・音楽会・コンサート	24%				
・映画会	1%				
・日舞・洋舞	5%				
・その他(練習など)	47%				
利用者数 (H29年度)※1	86,001人	利用主体 ※1	(回数比)		
		・行政・市民会館	54%		
		・公社・NPO・協会	4%		
		・学校	19%		
		・文化団体・教室	10%		
		・企業・団体	13%		

# 豊岡市の主要ホール概要② 豊岡市民プラザ

- 特徴・位置付け **市民活動支援・子育て支援・地域文化活動創造育成拠点**  
駅前商業施設内の文化活動・交流拠点
- ほっとステージ **可動客席の平土間ホール**  
・用途・ジャンル **市民演劇団体等の支援育成、音楽（ポップス・室内楽等）の練習発表**  
**各種展示・セミナー、講演会など**
- ・利用主体 **自主事業団体、文化団体、学校など**
- ・利用状況 **日稼働率は6割程度**
- その他 **諸室利用者多数。電車待ちの高校生多い**

施設概要		ホール		備考															
施設形態	複合（商業施設等）	名称	ほっとステージ	○専門家による指導育成を経て、近年は市民の主体的な活動が展開されている ○ホールはクラシックには不向きで、吹奏楽には狭いが、ソロ奏者の演奏会利用あり ○諸室利用状況（H28年度）※1 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>人数</td> <td>（回数）</td> </tr> <tr> <td>・楽屋/練習室/リハーサル室</td> <td>15,465人</td> <td>(1,770回)</td> </tr> <tr> <td>・市民活動室</td> <td>22,162人</td> <td>(1,273回)</td> </tr> <tr> <td>・ふれあい広場</td> <td>36,846人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・子育て学習室</td> <td>18,730人</td> <td></td> </tr> </table>		人数	（回数）	・楽屋/練習室/リハーサル室	15,465人	(1,770回)	・市民活動室	22,162人	(1,273回)	・ふれあい広場	36,846人		・子育て学習室	18,730人	
	人数	（回数）																	
・楽屋/練習室/リハーサル室	15,465人	(1,770回)																	
・市民活動室	22,162人	(1,273回)																	
・ふれあい広場	36,846人																		
・子育て学習室	18,730人																		
管理形態	指定管理	収容人数	294席（可動席）																
建築年月	平成 10 年	形式	平土間																
構造・階数	R C ・ 7 階	舞台大きさ（m）	W17×D10×H7																
延床面積	2,436 m <sup>2</sup>	利用人数（H28年度）※1	26,365人																
耐震性	新耐震基準	利用日数（H29年度）※2	186日																
施設の構成	ほっとステージ 楽屋2 練習室3 リハーサル室 市民活動室4 ほか	稼働率〔日〕※2	59% （平日47% 休日81%）																
		利用ジャンル ※2 ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他（練習等）	（回数比） 11 % 13 % <b>16 %</b> <b>16 %</b> 3 % 2 % <b>38 %</b>																
利用者数 （H28年度）※1	119,528人	利用主体 ※2 ・行政 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体 ・自主事業団体	（回数比） 8 % <b>17 %</b> 13 % <b>15 %</b> 8 % <b>41 %</b>																



※1 市統計書 ※2 市データをもとに算出

# 豊岡市の主要ホール概要③ 城崎国際アートセンター (KIAC)

- 特徴・位置付け **滞在型の舞台芸術創造発信拠点 (アーティスト・イン・レジデンス)**  
温泉街にアーティストが暮らすように長期滞在しながら作品創造
- ホール  
  - ・ 用途・ジャンル 会議場を改修した可動客席のホール
  - ・ 利用主体 演劇を中心とした舞台芸術作品の創造 (創作・稽古・発表)
  - ・ 自主/貸館 国内外のアーティスト、一部文化団体発表会、企業講演会など
  - ・ 自主活動が主体
- その他 スタジオ、レジデンス室 (宿泊施設・食堂等)

施設概要		ホール		備考
施設形態	単独	名称	ホール	○主な事業 ・アーティスト・イン・レジデンスプログラム ・滞在アーティストによるワークショップやアウトリーチ ・一部文化団体発表会(年に数日程度)
管理形態	直営	収容人数	可動席 500席 (平土間1000人)	
建築年月	昭和58年	形式	平土間 (可動席)	
構造・階数	RC・4階	舞台大きさ (m)	W18 × D12.6 × H7	
延床面積	3,930 m <sup>2</sup>	利用人数 (H28年度)※1	8,711人	
耐震性	新耐震基準	利用日数 (H28年度)※1	199回	
施設の構成	ホール 楽屋×1 調理室×1 スタジオ×1 浴室×4 宿泊室×6 食堂・喫茶×1 ほか	稼働率 (日)	—	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他 (練習など)	—	
利用者数 (H28年度) ※1	14,097人	利用主体 ・行政・市民会館 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	—	

※1 市統計書

# 豊岡市の主要ホール概要④ 日高文化体育館

- 特徴・位置付け **旧日高町を中心とした市民の文化スポーツ活動拠点**  
屋内スポーツ、公演・大会・式典等に対応する文化スポーツ拠点
- 大ホール **固定席と可動客席を備えた多目的施設**
- ・ 用途・ジャンル **スポーツ大会、音楽等の演奏会、大会・式典・講演会等**
- ・ 利用主体 **スポーツ文化団体、学校、行政・各種団体、民間企業、NPO等。文化用途は限定的**
- ・ 自主/貸館 **貸館主体**
- その他 **小ホール、会議室など併設**

施設概要		ホール			備考
施設形態	単独	名称	大ホール	小ホール	○主な事業 ・ベーゼンドルファーの無料開放イベント ・室内楽(主にピアノ)コンサート ・地元学校や団体の吹奏楽発表
管理形態	指定管理	収容人数	780席	150名	
建築年月	昭和62年	形式	平土間(可動席)	平土間	
構造・階数	R C・2階	舞台大きさ(m)	W20×D10×H6	W5×D3×H3	
延床面積	2,731㎡	利用人数(H29年度)※2	2,675人	1,421人	
耐震性	新耐震基準	利用日数	—	—	○スポーツ利用が中心であり、豊岡市公共施設再編計画(H28)において「ホール機能については見直す」との記載あり
施設の構成	大ホール1面 ※ バスケットボール1 バレーボール2 テニスコート1 ※ホールと共用  小ホール トレーニング室 会議室 ミーティング室	稼働率(日)	—	—	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他(練習など)	—	—	
利用者数(H25年度)※1	36,506人	利用主体 ・行政・市民会館 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	—	—	※1 豊岡市公共施設再編計画(H28) ※2 指定管理者の管理運営状況および総合評価(H30)

# 豊岡市の主要ホール概要⑤ 出石永楽館

- 位置付け **県指定文化財の伝統的芝居小屋**  
明治期に建設された歴史的建築空間を活かした文化活動拠点
- ホール 伝統的な芝居小屋
- ・ 用途・ジャンル 歌舞伎や狂言等の伝統芸能のほか、落語、ポピュラー音楽、演劇、講演会等
- ・ 利用主体 市内外の興行団体、文化団体など
- ・ その他 永楽館歌舞伎は広域から集客

施設概要		ホール		備考
施設形態	単独	名称	出石永楽館	○廻り舞台直径6.6m ○施設を一般公開（有料）
管理形態	指定管理	収容人数	368人	
建築年月	平成20年（復原工事）	形式	—	
構造・階数	木造2階	舞台大きさ（m）	間口10.9m	
延床面積	610.89㎡	利用人数（H28年度）※1	22,316人	
耐震性	—	利用日数	—	
施設の構成	花道 奈落 すっぽん セリ 囃子場 太夫座 衣装部屋 道具方部屋 カヅラ部屋 化粧部屋 湯殿	公演記録（H29年度） ※2	公演等	ジャンル
			2017/4/15 「尼乃家河鹿・五月家ちろり二人会」 落語 5/21 朝日永楽館落語 南光・南天 二人会 落語 6/10 出石・永楽館 子ども落語大会 落語 7/9 パーマネントフィッシュ アカペラコンサート 音楽 7/15 テアトロ・ムジーク・インプロヴィーズ『うつくしいまち』出石公演 その他 7/16 新☆星 山田ブラザーズ 津軽じょんがら舞踊絵巻 大衆演劇 7/29 奈義町こども歌舞伎公演 歌舞伎（その他） 8/29 DEEN 47都道府県ツアー2017 音楽 11/4～12 第10回 永楽館歌舞伎 永楽館歌舞伎 12/9 永楽館 石見神楽公演 土江子ども神楽団 その他 2018/3/17 淡路人形浄瑠璃 出石永楽館公演 その他 3/20 永楽館復原10周年記念 第23回全国芝居小屋会議 出石永楽館大会 永楽館歌舞伎 3/30 Mongolia Music Fes vol.1 チャリティーコンサート その他 3/31 東播フォークジャンボリー in 永楽館 音楽	
利用者数 （H28年度）※1	22,316人			

※1 豊岡市文化芸術振興計画 ※2 HPをもとに作成

# 豊岡市の主要ホール概要⑥ 出石文化会館（ひぼこホール）

- 位置付け 旧出石町を中心とした文化団体や学校等の発表、練習の場  
複数のホールを有する、市民の舞台芸術活動の練習や発表の場
- 大ホール 固定席の多目的ホール  
・用途/利用主体 出石及び周辺文化団体・学校の演奏会や演劇・バレエ発表会、企業等の講演等
- 小ホール 大ホールの袖に連続する平土間スペース  
・用途/利用主体 出石地域の合唱サークルの練習などが9割
- 多目的ホール 講堂形式の多目的ホール  
・用途/利用主体 講演、集会、武道、ダンスなど

施設概要		ホール				備考
施設形態	単独	名称	大ホール	小ホール	多目的ホール	○主な事業 ・合唱団体の発表会 ・バレエ教室発表会 ・地元学校や団体の吹奏楽発表会 ・ジュニアピアノコンクール等
管理形態	直営	収容人数	490人	100人	380人	
建築年月	平成6年	形式	プロセニウム形式	平土間	平土間	
構造・階数	R C・4階	舞台の大きさ	W12 x D10 x H7	—	—	
延床面積	2,423 m <sup>2</sup>	利用人数 (H29年度)※1	8,806人	3,074人	2,445人	
耐震性	新耐震基準	利用日数 (H29年度)※1	72日	147日	48日	
施設の構成	大ホール 小ホール 多目的ホール ギャラリー 楽屋3	稼働率〔日〕※1	23.3%	47.7%	15.5%	○大ホールと小ホールは平成30年8月1日から使用停止
		利用ジャンル ※1	(回数比)			
利用者数 (H29年度) ※1	16,725人	利用主体 ※1	(回数比)			
		・行政 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	18% 14% 18% 34% 18%	1% 3% 4% 90% 3%	6% 12% 4% 65% 14%	

# 豊岡市の主要ホール概要⑦ 出石市民ホール

- 位置づけ **出石地域を中心とした文化団体の日常活動拠点**  
出石庁舎内の多目的ホール。文化活動の練習・簡易な発表の場
- ホール **平土間スペース**
- ・ 用途/利用主体 **出石地域文化団体等の合唱や室内楽の練習・発表会、各種大会・式典・講演会等**
- ・ 自主/貸館 **貸館主体**
- その他 **ひぼこホール（大ホール・小ホール）使用停止後に利用者増加**

施設概要		ホール		備考
施設形態	複合（庁舎）	名称	ホール	○出石永楽館に近接 ○伝建地区内にあり周辺の景観良好（歴史的街並み） ○屋外にイベント広場
管理形態	直営	収容人数	—（106.9㎡）	
建築年月	平成5年	形式	平土間形式	
構造・階数	—	舞台大きさ（m）	—	
延床面積	2,830 ㎡	利用人数（H28年度）	—	
耐震性	新耐震基準	利用日数	—	
施設の構成	市民ホール 多目的室 ほか	稼働率（日）	—	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他（練習など）	—	
利用者数	—	利用主体 ・行政・市民会館 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	—	

# 豊岡市の主要ホール概要⑧ 但東市民センター

- 位置付け **但東地域を中心とした文化団体の日常活動拠点**  
但東地域内の文化活動団体等の練習・発表の場
- ホール  
  - ・ 用途/利用主体 但東地域社会教育団体・文化団体等各種大会・式典・講演会、合唱や室内楽、洋舞の練習および発表会 等
  - ・ 自主/貸館 貸館のみ
  - ・ その他 稼働率は低下傾向

施設概要		ホール		備考
施設形態	複合（庁舎）	名称	ホール	○主な事業 ・セミナー・研修会  ○豊岡市公共施設再編計画（H28）によれば、「ホールとしてではなく、集会所として使用する」
管理形態	直営	収容人数	248席	
建築年月	平成 6 年	形式	平土間形式	
構造・階数	R C ・ 3 階	舞台大きさ（m）	—	
延床面積	1,099 m <sup>2</sup>	利用人数（H28年度）※2	2,859人	
耐震性	新耐震基準	利用日数	—	
施設の構成	ホール 楽屋 和室	稼働率（日）	—	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他（練習など）	—	
利用者数 （H25年度）※1	7,778人	利用主体 ・行政・市民会館 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	—	

※1 豊岡市公共施設再編計画(H28)  
 ※2 豊岡市文化芸術振興計画(H30)

# 豊岡市の主要ホール概要⑨ **じばさんTAJIMA多目的ホール** 〔参考〕

- 特徴・位置付け **但馬地域地場産業振興センター内の地域企業・団体の会議・集会拠点**
- ホール 平土間スペース
- ・ 用途/利用主体 地元企業・団体等の会議や集会、講演会、パーティー等の利用が主体  
文化団体等の演奏会にも利用
- その他 料金が市内公共施設と比べて高い  
ステージのレベルが床から高い

※グループヒアリングより

施設概要		ホール		備考
施設形態	複合	名称	多目的ホール	○多目的ホール 
管理形態	第三セクター	収容人数	350人	
建築年月	—	形式	平土間	
構造・階数	—	舞台大きさ (m)	—	
延床面積	—	利用人数 (H28年度)	—	
耐震性	—	利用日数	—	
施設の構成	多目的ホール 多目的小ホール 第1交流センター 第2交流センター 第3交流センター デザイン開発研修室 コンピューター室 経営研修室 講座室 (和室)	稼働率 (日)	—	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他 (練習など)	—	
利用者数	—	利用主体 (回数比) ・行政・市民会館 ・公社・NPO・協会 ・学校 ・文化団体・教室 ・企業・団体	—	(出展： <a href="http://www.tajima.jibasan.jp/modules/reserv/index.php?fid=1">http://www.tajima.jibasan.jp/modules/reserv/index.php?fid=1</a> ) ○じばさんTAJIMA(外観) 
				(出展： <a href="http://www.toyokan.jp/modules/guide/singlelink.php?lid=117">http://www.toyokan.jp/modules/guide/singlelink.php?lid=117</a> )

# 既存施設の特徴・位置付け

施設		特徴・現状の位置付け	鑑賞	創造育成	発表	練習	講演大会等 式典	備考
豊岡市民会館		豊岡市の文化の殿堂 豊岡市民の芸術鑑賞・文化芸術活動拠点	◎	○	◎	○	◎	
豊岡市民プラザ		豊岡駅前/商業施設併設 市民活動・子育て支援・地域文化活動創造育成拠点		◎	◎	◎	◎	演劇主体 高校生居場所
城崎国際アートセンター /KIAC		温泉街にある滞在型の舞台芸術創造発信拠点 アーティスト・イン・レジデンス		◎	○		○	プロ演劇主体 一部市民利用
日高 文化体育館	大ホール	日高地域住民の文化スポーツ活動拠点			○		○	スポーツ主体
	小ホール					◎		
出石永楽館		伝統的芝居小屋	◎		◎			伝建地区
出石文化会館 ひぼこホール	大ホール	出石地域の文化団体・学校等の発表・練習拠点			◎	△	○	出石市街地外 使用停止
	小ホール	出石エリア文化団体の練習の場				◎		
	多目的ホール	各種集会等			△	△	○	存続
出石市民センター		出石庁舎内の多目的ホール 地元文化団体（合唱等）の活動場所			※	◎		伝建地区 ※要改修
但東市民センター		但東庁舎内の多目的ホール 地元文化団体の活動場所			◎	○	◎	
じばさんTAJIMA 多目的ホール		但馬地域の産業振興を目的とした集会会議施設			△		◎	第三セクター が運営 30

# 豊岡市内のコミュニティセンター 一覧

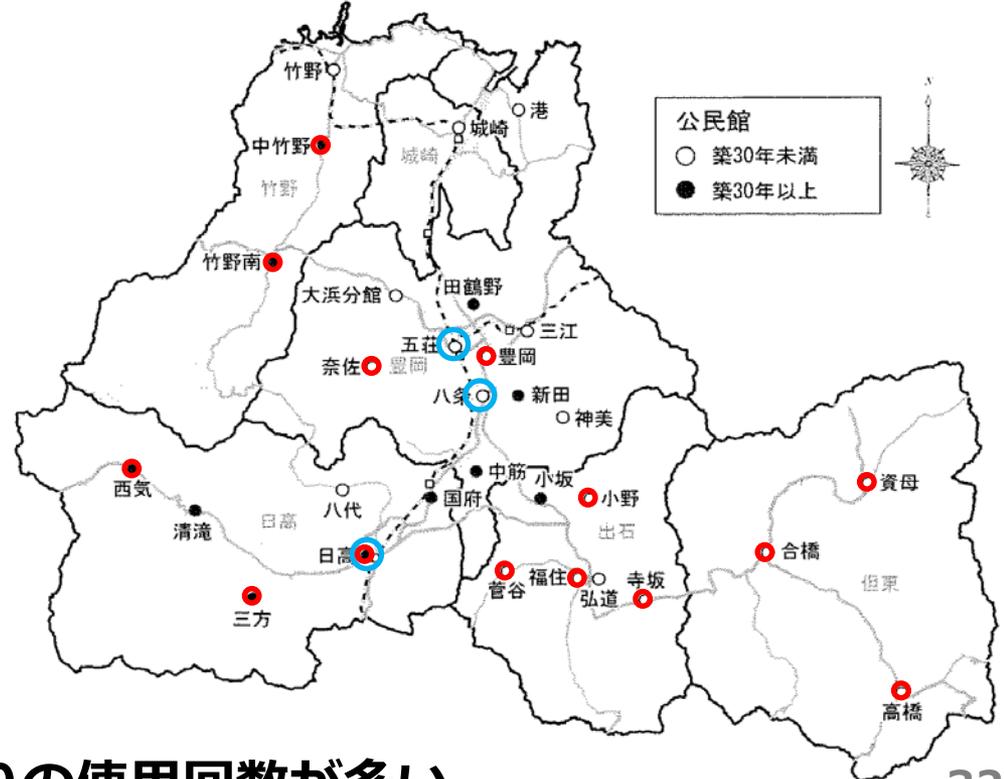
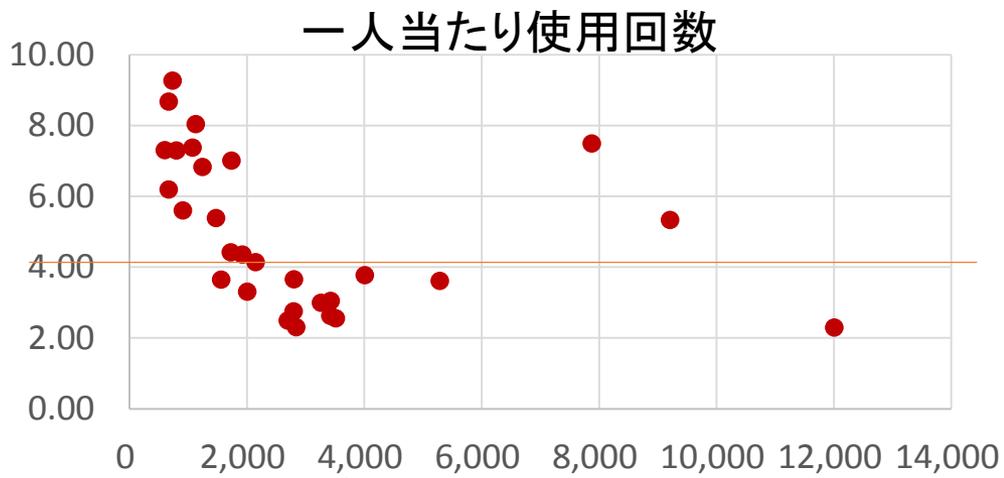
【第1回資料再掲】

豊岡地区	神美地区	八条地区	三江地区	五荘地区	新田地区	中筋地区	奈佐地区	港地区	田鶴野地区
 <p>集会室1 集会室2 会議室 研修室 相談・会議室 和室1 和室2 総合学習室 調理室 レッスンルーム スタッフルーム</p>	 <p>教養講座室 調理実習室 会議室（和室） 会議室（洋室） 図書館兼展示資料室</p>	 <p>小会議室 <b>文化ホール</b> 教養講座室 研修室 会議室 栄養実習室</p>	 <p>会議室（1） 教養講座室 会議室（2） 調理実習室 大会議室A 大会議室b</p>	 <p><b>多目的ホール1</b> <b>多目的ホール2</b> 会議室 研修室 和室1 和室2 総合学習室 調理実習室 レッスンルーム スタッフルーム</p>	 <p>講座室（和） 研修室 調理室 大会議室</p>	 <p>和室 集会室 講座室 青年室 調理室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 会議室 和室 調理室</p>	 <p>研修室 講座室 調理実習室 図書室兼資料室 大会議室</p>	 <p>講座室（和） 小会議室 大会議室 青年室 調理教室</p>
城崎地区	竹野地区	中竹野地区	竹野南地区	日高地区	八代地区	日高地区	三方地区	清滝地区	西気地区
 <p><b>多目的ホール1</b> <b>多目的ホール2</b> 和室研修室 調理実習室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 第1研修室 第2研修室 和室 調理実習室</p>	 <p>青年研修室 第1研修室（和室） 第2研修室 調理室 集会室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 研修室 和室 調理室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 調理実習室 洋会議室 和会議室</p>	 <p>多目的集会室 調理実習室 会議室 和室会議室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 調理実習室 展示ホール 青年の家 農業研修室 老人休養室 生活研修室 会議室（和室） 会議室（洋室） 保育室 会議室（大） 活動室 食堂</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 調理実習室 研修室 和室会議室</p>	 <p>多目的集会室 調理実習室 会議室 和室会議室</p>	 <p><b>多目的ホール</b> 研修室 和室 調理室</p>
出石地区	福住地区	寺坂地区	菅谷地区	小坂地区	小野地区	但東地区	合橋地区	高橋地区	資母地区
 <p><b>多目的ホール</b> 研修室 和室 調理実習室</p>	 <p>研修室 資材室兼活動室 和室 調理室 <b>多目的ホール</b></p>	 <p>研修室 和室 調理室 <b>多目的ホール</b></p>	 <p>機能回復訓練室 交流室 研修室 食生活指導室</p>	 <p>相談室 会議室（和室） 生活改善実習室 農事研究室 大会議室</p>	 <p>和室 調理実習室 <b>多目的ホール</b></p>	 <p>会議室 研修室 和室 学習活動室 調理実習室 <b>多目的ホール</b></p>	 <p>大会議室兼練習場 和室1 和室2 調理実習室</p>	 <p>研修室 和室 調理実習室 <b>多目的ホール</b></p>	 <p>研修室 和室 調理実習室 <b>多目的ホール</b></p>

# 豊岡市内のコミュニティセンター 利用状況

## 利用状況(平成28年度)

地域	地区名	使用回数	利用者	地区人口	一人あたり使用回数	一回あたり使用人数
豊岡	豊岡	3,191	49,135	9,212	5.33	15.4
	八条	629	19,097	5,285	3.61	30.4
	三江	720	9,007	3,423	2.63	12.5
	田鶴野	782	7,715	2,795	2.76	9.9
	五荘	1,129	27,586	12,007	2.30	24.4
	新田	575	10,466	3,429	3.05	18.2
	中筋	736	8,401	1,927	4.36	11.4
	奈佐	502	9,085	1,129	8.05	18.1
	港	890	10,261	2,805	3.66	11.5
	神美	660	8,930	2,152	4.15	13.5
城崎	城崎	1,209	8,990	3,518	2.56	7.4
竹野	竹野	541	6,574	2,843	2.31	12.2
	中竹野	495	5,816	670	8.68	11.7
	竹野南	460	7,923	1,073	7.38	17.2
日高	国府	562	9,783	3,263	3.00	17.4
	八代	587	6,816	735	9.27	11.6
	日高	2,423	59,067	7,878	7.50	24.4
	三方	435	6,723	2,696	2.49	15.5
	清滝	331	5,722	1,566	3.65	17.3
	西気	381	5,858	802	7.30	15.4
出石	弘道	914	15,161	4,008	3.78	16.6
	福住	441	7,947	1,473	5.40	18.0
	寺坂	395	4,409	603	7.31	11.2
	菅谷	237	4,167	672	6.20	17.6
	小坂	647	6,636	2,006	3.31	10.3
	小野	702	8,506	1,244	6.84	12.1
但東	合橋	956	12,205	1,740	7.01	12.8
	高橋	472	5,120	913	5.61	10.8
	資母	862	7,646	1,728	4.42	8.9
全体		22,864	354,752	83,595	4.26	15.5



豊岡、城崎以外の地域で一人あたりの使用回数が多い

# 既存施設のホール機能（対応可能な用途）

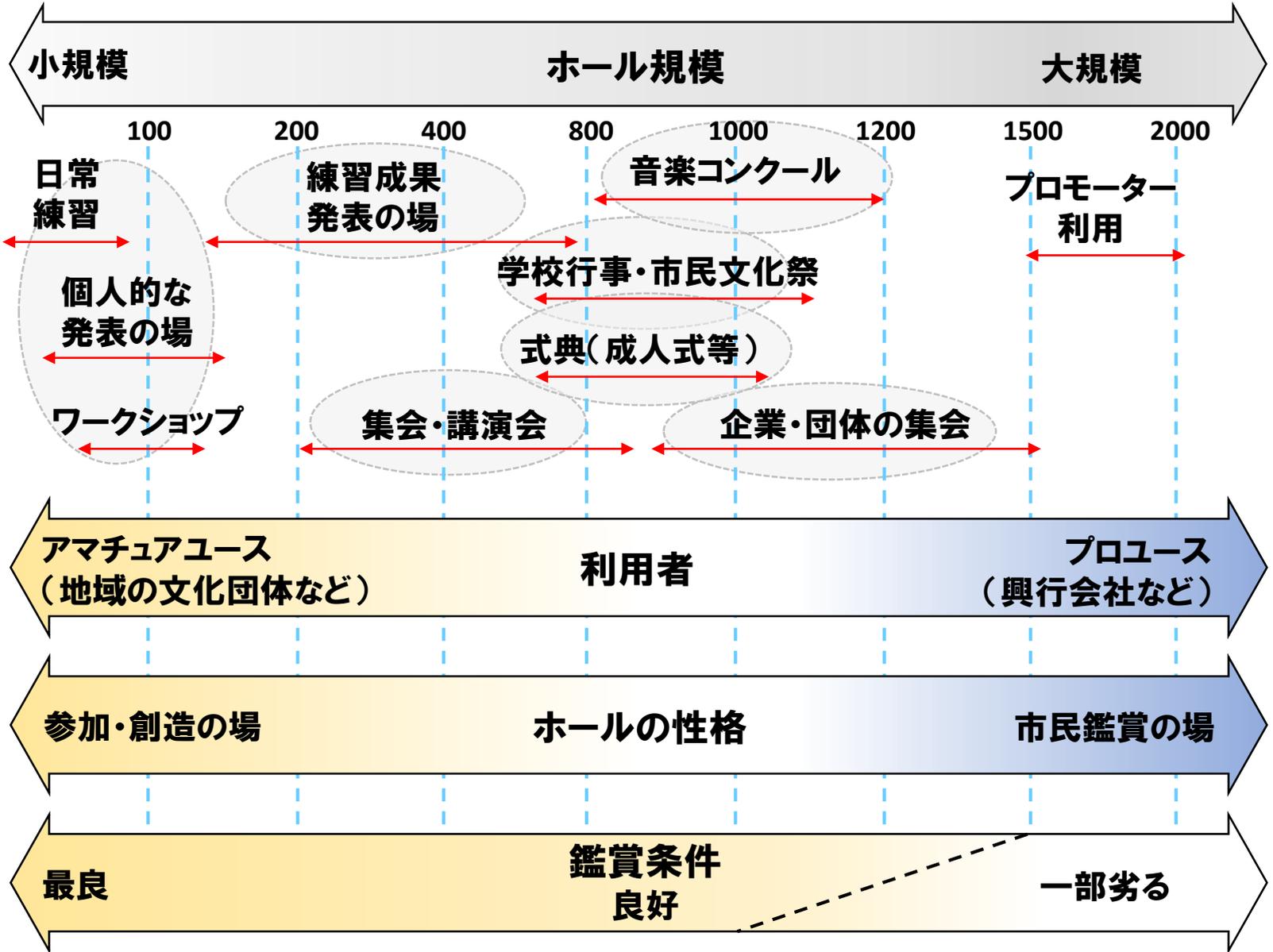
【第1回資料再掲】

			公演・発表			練習・リハール	会議・集会	展示・物販・パーティー	備考
			クラシック	ダンス 演劇・ 古典芸能	ポップス				
市民会館	文化ホール	1,118席 固定席	○	○	○	○	○	×	上演/鑑賞 環境良好
	リハール室	平土間	△	△	△	○	○	○	練習
豊岡市民プラザ		294席 可動席	△	○	○	○	○	○	アマチュア 練習発表
城崎国際アートセンター		500席 可動席	—	○	○	○	○	—	演劇主体 プロ創造発信
出石永楽館		368席 座敷席	△	○	△	○	×	×	芝居小屋 演目限定
出石市民ホール		107㎡ 平土間	※	※	※	○	○	○	アマチュア 練習+a
出石文化会館 (ひぼこホール)	大ホール	490席 固定席	○	○	○	○	○	×	使用停止
	小ホール	100人 平土間	△	△	△	○	○	○	
	多目的ホール	380人 平土間	△	△	△	○	○	○	練習
日高文化体育館	大ホール	780席 可動席	△	△	△	○	○	○	練習+a アマには過大
	小ホール	150人 平土間	△	△	△	○	○	○	練習
但東市民センター		248席	△	△	△	○	○	○	アマチュア 練習+a
コミュニティセンター（ホール附置施設）			△	△	△	○	○	○	アマチュア 練習

○：適 △：可 ×：不適 ※：要改修

## **3 ②. 新文化会館の方向性（案）**

# ホールの規模と利用イメージ



※団体の規模や動員力によって対象規模は変わります

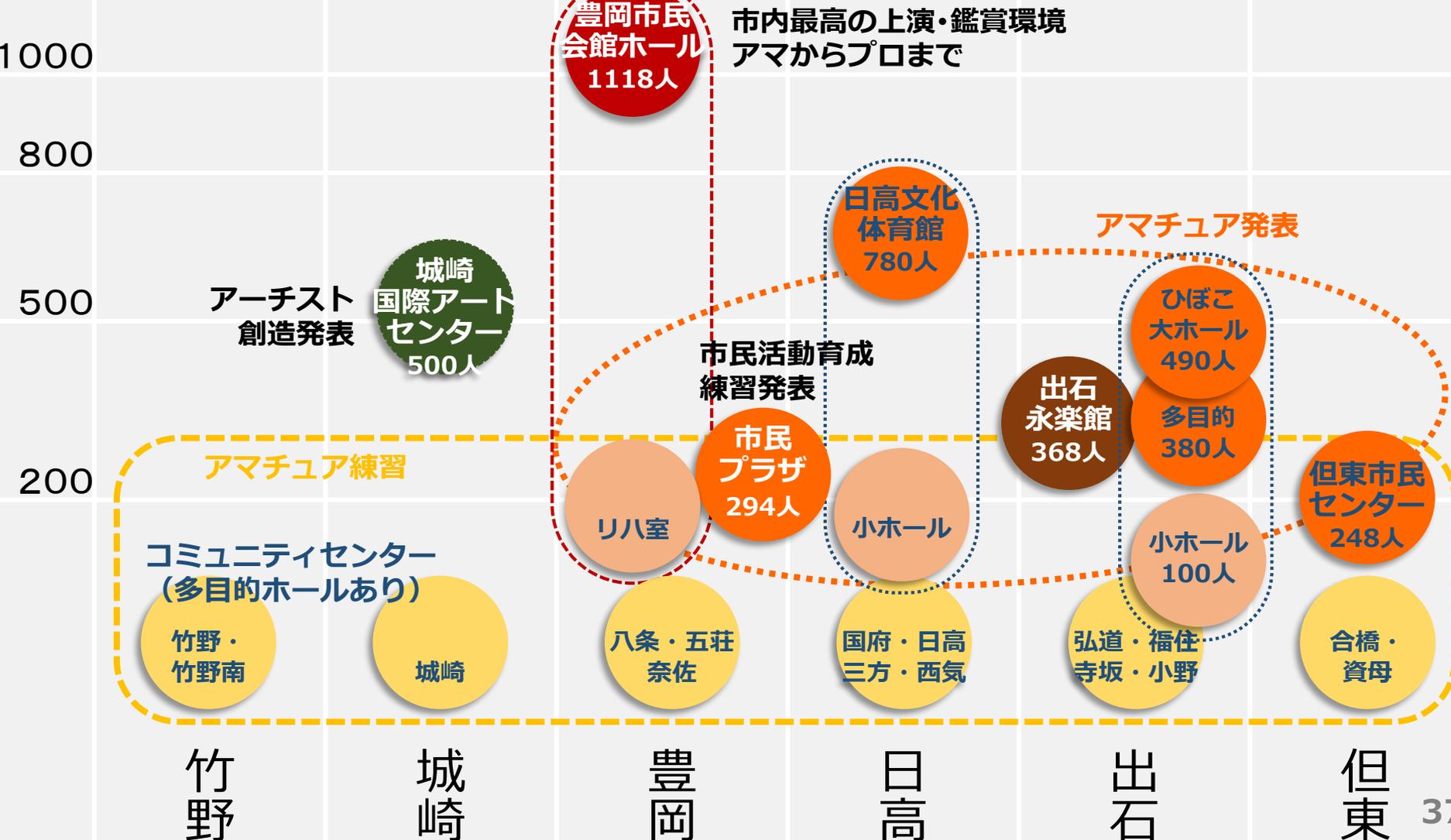
# 〔参考〕 市民会館文化ホール 本番動員数上位催事（平成29年度）

	イベント種別	イベント名	利用団体	利用人数
1	音楽会・コンサート	第64回兵庫県吹奏楽コンクール地区予選	但馬吹奏楽連盟	1,603人
2	音楽会・コンサート	但馬吹奏楽祭	但馬吹奏楽連盟	1,150人
3	演芸	春休み！吉本お笑いライブin豊岡2018	よしもとクリエイティブエージェンシー	1,100人
4	音楽会・コンサート	陸上自衛隊音楽フェスタ(2日目)	豊岡市民会館	1,030人
5	音楽会・コンサート	豊岡プラスフェスタ2017	豊岡市民会館	1,000人
6	大会・式典・総会	北近畿山陰近畿自動車道早期実現促進大会	北近畿・山陰近畿自動車道大会委員会	1,000人
7	音楽会・コンサート	清塚信也ピアノリサイタル	豊岡市民会館	959人
8	音楽会・コンサート	陸上自衛隊音楽フェスタ(1日目)	豊岡市民会館	930人
9	音楽会・コンサート	森麻季ソプラノリサイタル	国際ソロプチミスト但馬	930人
10	講演会	第50回文教府夏期大学	但馬文教府	930人
11	日舞・洋舞	豊岡みどり会 研究生発表会	豊岡みどり会	900人
12	大会・式典・総会	兵庫県教頭協議会研修大会	兵庫県教頭協議会	800人
13	音楽会・コンサート	但馬中学校連合音楽会	但馬中学校長会・中学校教育研究会音楽部会	800人
14	講演会	創立30周年記念講演会	豊岡商工会議所青年部	800人
15	その他	南陵祭	豊岡南中学校	800人
16	大会・式典・総会	豊岡市成人式	生涯学習課	750人
17	演芸	桑野信義ライブショー	日本生命	727人
18	音楽会・コンサート	大阪音大吹奏楽団演奏会	豊岡市民会館	696人
19	日舞・洋舞	野村萬斎狂言公演	豊岡市民会館	640人
20	演芸	豊岡市児童文化祭	こども教育課	610人

# 豊岡市内ホール施設 ポジショニングマップ

(従前：ひぼこホール 大ホール・小ホール 使用停止前)

- 旧市の施設を引き継いだ構図
- 豊岡地区の市民会館が最大・最良の公演・鑑賞環境
- 各地区に残る施設がアマチュアの練習～簡易な発表の場
  - ・竹野、城崎地区が見劣り



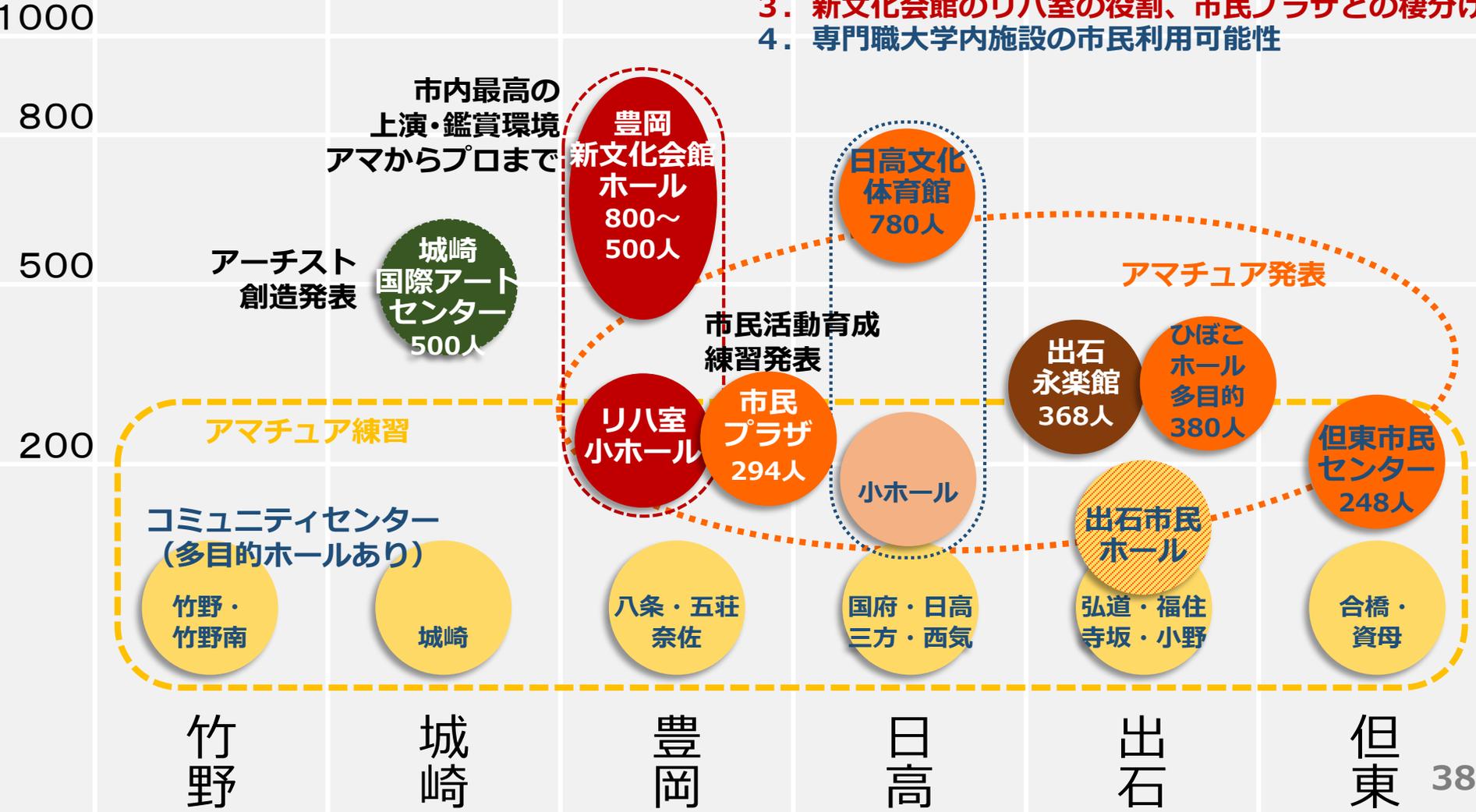
# 豊岡市内ホール施設 ポジショニングマップ (将来案)

## ■ 基本的な考え方

- ① 新文化会館に高度なホール機能を配置 (大～小)  
公演・発表会から大会・式典まで多用途に対応
- ② ひぼこの公演・鑑賞・発表機能 → 豊岡新文化会館  
同、練習・簡易発表機能 → 出石市民ホール

## ■ 備考・課題など

1. 日高、但東もアマチュア活動の場として利用継続  
(市公共施設再編計画 (H28)において、  
日高は「ホール機能見直し」但東は「集会所として利用」)
2. 竹野、城崎地区のアマチュア活動場所の確保
3. **新文化会館のリハ室の役割、市民プラザとの棲分け**
4. 専門職大学内施設の市民利用可能性



## (1) 施設の性格付け

現施設の用途を踏襲し、**舞台芸術活動拠点**として多目的に利用する（音楽会・コンサートを始め多様な舞台芸術を展開、大会・式典・講演会にも対応）。良好な上演・鑑賞環境とする

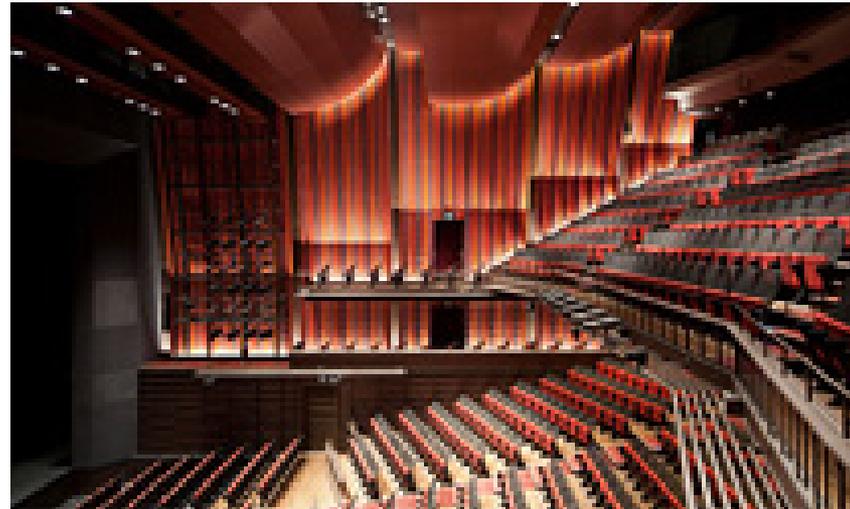
- **大ホール**
  - ・ 800席。二層構成とし、一階席（500席程度）のみでの利用も可能
  - ・ 演目を限定しない多目的ホール
- **小ホール**
  - ・ 300席。音楽専用ホール
- **リハーサル室**
  - ・ 20m×15m程度の平土間空間
  - ・ 2000席クラスの大ホールの音響反射板使用時の舞台サイズ+aの大きさ
  - ・ イスを並べて小ホールとしての利用も可能

## (2) 新文化会館の施設構成案

- A案 **大ホール** + **小ホール** + **リハーサル室**
- B案 **大ホール** + **小ホール**
- C案 **大ホール** + **リハーサル室** → 小ホールは別の場所に整備（新築）※
- D案 **大ホール** + **リハーサル室** → 小ホールは別の場所に整備（既存施設改修）※
- E案 **大ホール** + **リハーサル室** → 小ホールはなし

※ 別の場所に整備する場合は、音楽専用ホールとは限らない

舞台芸術に重点をおいた多機能ホール。客席2層の施設例



穂の国とよはし芸術劇場PLAT(客席数:778席 : 1階530席、2階248席)

## 音楽専用小規模ホール



浦安文化ホール(客席数:300席)



茅野市民館 コンサートホール(客席数:300席)



豊中市芸術文化センター 小ホール(客席数:202席)



ミュージックルーム(北上市文化交流センター)



リハーサル室(神奈川芸術劇場)



スタジオ(松本市民芸術館)



マルチホール(大船渡 市民文化会館)



発表会もできるマルチスタジオ(下呂交流会館)



音楽練習室(北上市文化交流センター)



会議室(フレサよしみ)



大楽屋兼練習室(都城市総合文化ホール)



共用スペースで練習(北上市文化交流センター)



大アトリエを展示利用(北上市文化交流センター)



ロビーで練習(北上市文化交流センター)



ロビーを展示利用(和光大学ポプリホール鶴川)



ロビー(茅野市民館)



情報コーナー(北上市文化交流センター)



学習ゾーン(黒部市国際文化センター)



ステップホワイエ(北上市文化交流センター)

用途	実演芸術		その他			
	公演・発表会/大会・集会		映像	リハーサル・練習	展示・物販	パーティー
空間形態	劇場仕様			平土間仕様		
ホール型式と用途	シューボックス型	多目的ホール型	ブラックボックス型			
	クラシック音楽	多用途対応	演劇・映像			
空間および設備の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客エリアの確保（もぎり、ホワイエ、トイレ等）</li> <li>・舞台裏エリアの確保(楽屋、搬入等)</li> </ul>			・更衣室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付スペース</li> <li>・主催者控室</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール自体が楽器</li> <li>・舞台と客席がひとつの立方体</li> <li>・ホール容積が大</li> <li>・静寂性</li> <li>・豊かな残響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台袖</li> <li>・フライタワー</li> <li>・良好なサイトライン</li> <li>・各演目の最適音響</li> <li>・可動式音響反射板</li> <li>・舞台特殊設備(機構、照明、音響)</li> <li>・映像設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【演劇】</li> <li>・舞台形式の可変性</li> <li>・舞台特殊設備(機構、照明、音響)</li> <li>【映像】</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・スクリーン</li> <li>・舞台音響設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な照明、音響</li> <li>【舞台仕様】</li> <li>・舞台でのリハ・稽古</li> <li>【平土間仕様】</li> <li>・大ホール用のリハ・稽古</li> <li>・社交ダンスの練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示パネル</li> <li>・展示照明</li> <li>・温湿度管理</li> <li>・給排水設備</li> <li>・床耐荷重大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小ステージ</li> <li>・円テーブル</li> <li>・簡易な照明、音響</li> <li>・給排水設備</li> <li>・パントリー</li> </ul>



## 【参考】

豊岡市の文化芸術環境に関するアンケートなど  
～豊岡市文化芸術振興計画より～

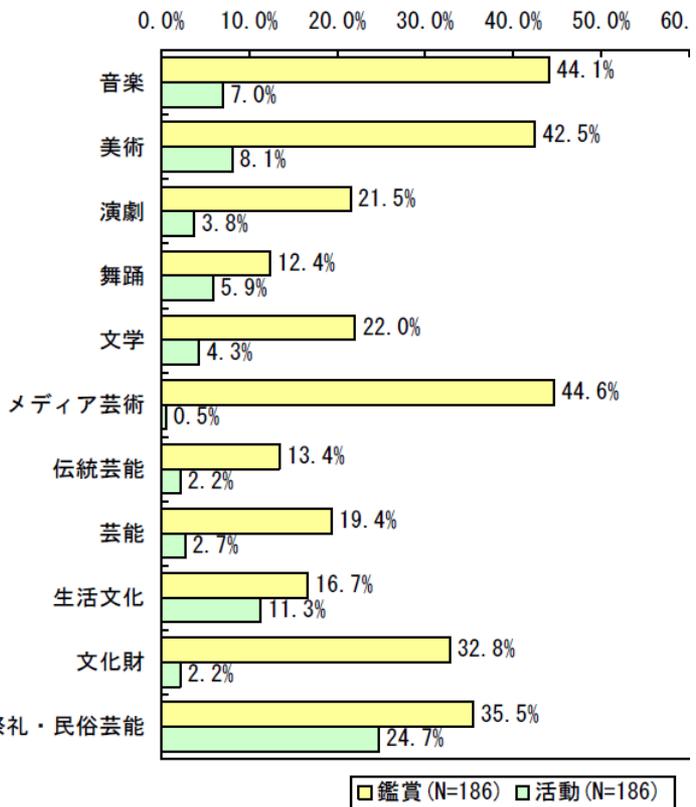
# 市の文化芸術環境に関するアンケート調査結果（豊岡市文化芸術振興計画より）

## ■ 個人の文化芸術活動の状況

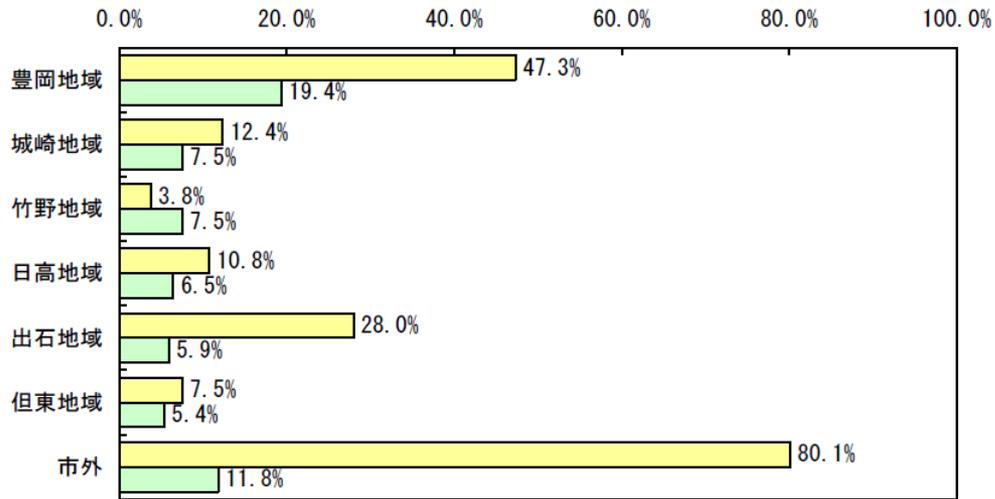
- ・文化芸術の分野としては、音楽や美術、若い世代では舞台芸術への興味が高い
- ・メディア芸術への興味も高いが、創作活動よりは鑑賞が主体
- ・鑑賞や体験をした地域は、市内では、豊岡、出石が他に比べて多い
- ・勤労世代では仕事や家事が忙しくて活動に参加できていない状況
- ・「新成人」「高校生」アンケートでは、子供の頃に体験した文化芸術活動に、若者になっても強い印象が残っているといった回答が多数。「触れれば、心に残る」

→個人の望む文化芸術の鑑賞・活動の機会をすべての地域で充実させることが課題

■ 鑑賞・活動した文化芸術の分野（複数回答）



■ 優先順位の高い文化芸術の鑑賞・活動をした地域（3つ以内で複数回答）



■ 文化芸術の鑑賞・活動をしなかった理由（複数回答）

	有効回答数	時間的・余暇が忙しく、金銭的な余裕がない	文化芸術に関する情報が少ない	通手段がない	鑑賞・活動場所への交通手段がない	鑑賞・活動する仲間や鑑賞・活動の機会がない	魅力的な公演・活動がない	その他	とくに理由はない
全体	233	53.6%	26.6%	15.9%	7.3%	30.9%	17.2%	9.0%	11.6%

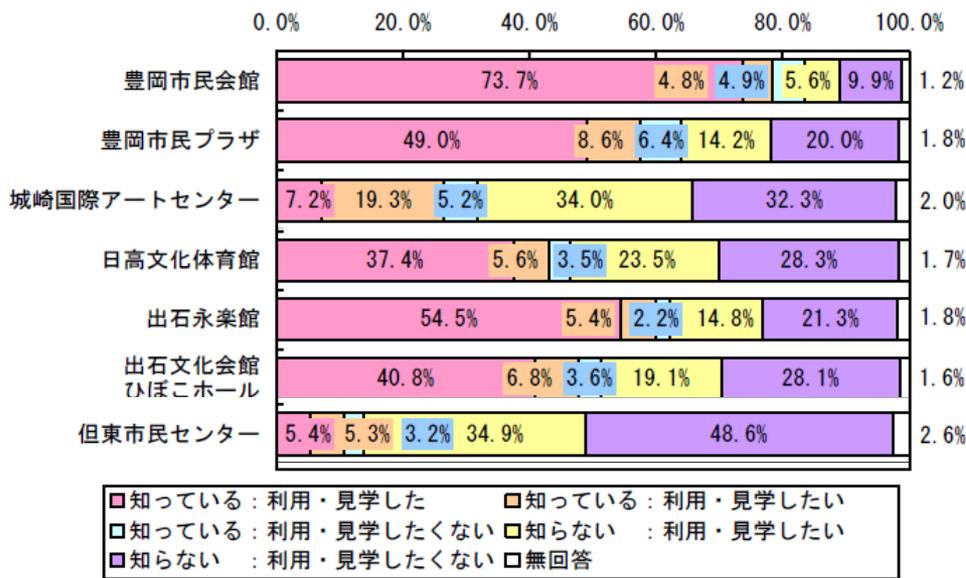
# 市の文化芸術環境に関するアンケート調査結果（豊岡市文化芸術振興計画より）

## ■ 次世代の文化施設の利用

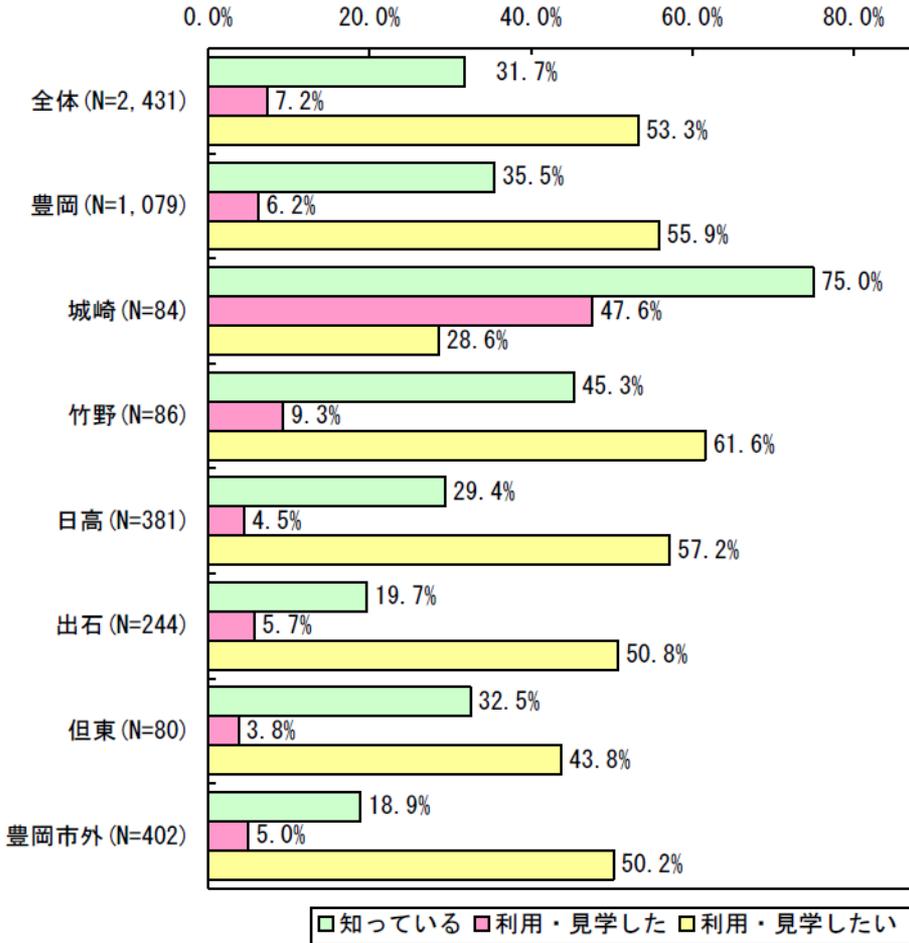
・ 芸術鑑賞会で使われるホールの認知度が高い反面、城崎国際アートセンター、但東市民センターは地元以外には知られていない

→教育機関と連携した体験学習、施設から各地域に出向いての体験機会の提供などの仕組みづくりが重要

■ 豊岡市のホールや博物館・美術館の認知度と利用状況



■ 「城崎国際アートセンター」の認知度と利用状況



# 豊岡市の文化芸術振興にむけた課題

## (1) 文化芸術鑑賞機会の充実と活動への支援

文化芸術の「人々の自己決定能力の向上」効果により、「ひとづくり」「ローカル・ガバナンス形成」

## (2) 情報発信のあり方の検討

若い世代への情報発信の工夫や、地域住民間の交流による情報の共有が必要

## (3) 文化施設へのアクセス問題の改善

芸術鑑賞・体験機会が、豊岡、出石に集中しており、全市的に体験を共有できるような機会充実が必要

## (4) 次世代を担う子どもたちへの文化芸術体験の展開

本物の芸術文化体験による真の情操教育を通じて醸成される、寛容性や命を尊重する気風を次世代につなぐしくみ

## (5) 豊岡市だからこそ体験できる文化芸術の重点支援

質の高い文化芸術の鑑賞や体験機会の充実については、市内外のバランスを図りながら、市内でしか体験できない分野やレベルの文化芸術に重点をおいて支援

## (6) 文化芸術を支える人材育成の推進

若い世代のアートマネージャーにとって魅力のある環境・条件整備が必要

# 文化芸術振興の戦略目的と主要手段

戦略目的



ターゲット

## 文化芸術による「小さな世界都市」の実現

人口規模は小さくても、豊岡の優れた文化芸術を創造、魅力を発信し、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち

- ・ 地方創生の核となる次世代を担う子どもたち
- ・ 高校生をはじめとする若い世代（UIターン希望者を含む）
- ・ 子育て世代

<主要手段>

①地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

<具体的な手段>

①-1.伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている  
ローカルであること、地域固有であることが世界で輝くチャンスに！

①-2.地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている  
私たちにとって「普通」の景観や暮らしぶりも地域固有の資源として磨く！

②優れた文化芸術が創造され、発信されている

②-1.優れた文化芸術に身近に触れている  
各文化施設の位置づけの明確化、市内全域で文化芸術を身近に！

②-2.豊岡の優れた文化芸術が内外に知られている  
若い世代に伝えるため、観光分野との連携を図って効果的な情報発信！

③文化芸術による交流が盛んになり、豊岡の魅力が高まっている

③-1.文化芸術による交流を通して、文化芸術に携わる人が増えている  
文化芸術及び観光に携わる人材の育成

③-2.文化芸術による交流を通して、多様性を受け入れ、支え合う気風に満ちている  
違いを受け入れ、共生していくことができるまちづくり

④子どもたちが優れた文化芸術に触れ、豊岡で世界と出会っている

④-1.子どもたちが優れた文化芸術に身近に触れている  
多様な文化事業を通じて、「ワクワクする」イメージ、さらには地域への愛着の育成

④-2.豊かな表現力を身につけた子どもたちが増えている  
コミュニケーション教育の推進を通じて相互理解能力を育てる